



## 心の渇きを潤す

『しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。』  
(新約聖書ヨハネ福音書より)

世界中で安全な水を利用できない人は、世界人口の1%、およそ8億人にも及ぶと言う。人々は川や池の汚れた水を飲用水として利用して、命をつなぐしかない。飲み水の汚染で、感染症などの病気になる確率も高く、特に、内紛が続くような国ではインフラ整備もできず、汚れた水で命を落とす人が後を絶たない。今、大阪の浄化剤メーカーが開発した、画期的な水の浄化剤がアジア・アフリカで大きな反響を呼んでいる。この浄化剤を汚れた水に入れると、水分中に含まれるヒ素などの有害物質と結合し、下に沈殿し、水をきれいにする事ができる。それをろ過することによって、透明の水となつて、飲み水として使うことができる。まさに、水は『いのちの水』である。

聖書に、イエスさまと1人の女性の対話が記されている。彼女は、誰もいない時間帯を見計らって井戸にやってきては、水を得ていた。彼女は自分の行状に対する周囲の非難を恐れてのことであった。イエスは、触れられたくない過去を、ひた隠しする彼女に、そのあやまちを明らかにする。彼女にとって必要な水は、のどを潤す美味しい水であるとともに、渇いた心を潤す「いのちの水」であった。色々な悩みや、思い煩いを抱えている私たちにとつても、魂を活かす「生ける水」が必要である。イエスを信じることによつて、誰もが受けられる潤いとなる。

### ・教会の集会・

教会の集会には、クリスチャンだけでなく、だれでも自由に参加できます。ぜひ、お越しください。

- ・日曜学校(幼児・小中高生) 日曜 午前9時
- ・聖日礼拝(子供からお年寄) 日曜 午前10時半  
【手話通訳があります】
- ・福音集会(初心者の方) 第2日曜 午後2時
- ・婦人集会(婦人対象) 第3火曜 午前10時
- ・聖書研究・祈り会 水曜 午後7時半
- ・聖書研究・祈り会 木曜 午前10時

## 加古川福音キリスト教会

〒675-0101

加古川市平岡町新在家2537-4

牧師:楠橋清隆・喜代子

TEL 079-425-1406

FAX 079-425-1406

E-MAIL CZZ02556@Nifty.com



雨の日もOK!

部屋干しのポイント

最近、不安定な天候の日が多いですね。出掛ける前、空とにらめっこして、結局部屋干しに、ということもよくあります。部屋干しの洗濯物が臭うのは洗濯で落としきれなかった汚れと雑菌です。乾燥に時間がかかることで、汚れが酸化し、雑菌が繁殖して、臭いのもとになります。嫌な臭いを防ぐポイントをいくつかご紹介しましょう。

- ①風呂の残り湯を使わない(雑菌が衣類に移りやすくなります)
- ②洗剤の量は適量で(洗剤の溶け残りが、雑菌やカビの原因になります)
- ③少し長めに脱水しましょう
- ④できるだけ広いスペースに間隔を空けて干すようにしましょう
- ⑤除湿機やエアコンのドライ機能で湿度の上昇を防ぎましょう
- ⑥扇風機の風を当て空気の流れを作るとなお効果的です。



人がその友のためにいのちを捨てると言う、これよりも大きな愛はだれも持っていません。  
ヨハネによる福音書 15章 13節

マキシミアノ・コルベ神父は、1930年来日し、長崎で、6年間文書による宣教を精力的に行ないました。ポーランドに帰国後1941年ナチスドイツによりアウシュビッツ強制収容所に囚人として送られます。8月囚人の1人が脱走したため、見せしめに10人が餓死監房へ送られることになりました。神父は自ら身代わりを申し出、パンも水もない死の地下室へ他の9人と共に入りました。飢えと渇きで多くが狂死する獄中を神父は賛美と祈りで満ちしました。苦しみに耐えつつ他者を慰め励まし8月14日穏やかに輝いた顔で息を引き取りました。47歳でした。

